

2023年（令和5年）度 第37回日本音声学会全国大会

The Thirty-Seventh General Meeting of the Phonetic Society of Japan

主催：日本音声学会（The Phonetic Society of Japan）

会場：北星学園大学

〒004-8631 北海道札幌市厚別区大谷地西 2-3-1

<https://www.hokusei.ac.jp/access/>

大会運営委員長：松浦 年男（北星学園大学）

第1日目 9月16日（土）会場 C700 教室, A703 教室, A705 教室

12:30～ 受付（C館 7F）

13:00～14:00 会長挨拶 上田 功（日本音声学会長）

総会

表彰式

14:00～14:15 休憩

14:15～16:15 ワークショップ（C700 教室, A703 教室, A705 教室）

16:30～17:30 特別講演（リモート開催）C700 教室

Carlos Gussenhoven (Radboud University Nijmegen)

“Form and meaning in paralinguistic: Interrogative intonation in two varieties of Chinese”

※ 特別講演は会員、非会員にかかわらず、どなたでも無料で聴講できます。この特別講演は学術振興会の「令和5年度科研費・研究成果公開促進費」の助成を受けています。

第2日目 9月17日（日）会場 C700 教室, A703 教室, A705 教室

9:30～ 受付（C館 7F）

10:00～12:25 研究発表（口頭 C700 教室, A703 教室, A705 教室）

12:25～13:30 休憩

13:30～14:30 研究発表（ポスター C702 教室）

14:30～14:50 休憩

14:50～16:30 研究発表（口頭 C700 教室, A703 教室, A705 教室）

ワークショッププログラム (9月16日 14:15~16:15)

A会場 C700 教室

言語障害における流暢性と非流暢性

林 良子 (司会者：神戸大学), 酒井 奈緒美 (国立障害者リハビリテーションセンター), 難波 文恵 (岡山中央病院, 川崎医療福祉大学), 高倉 祐樹 (北海道大学), 古田 尚久 (医療法人社団永生会みなみ野病院)

B会場 A703 教室

音声コミュニケーションのための音響学 (*印はオンライン発表)

竹内 京子 (司会者：順天堂大学), 青木 直史 (北海道大学), *荒井 隆行 (上智大学), *安 啓一 (筑波技術大学), 世木 秀明 (千葉工業大学), *秦若菜 (北里大学), 鈴木恵子 (北里大学)

C会場 A705 教室

音変化の規則性と自然性：歴史音韻論の展望

平子 達也 (司会者：南山大学), 高山 知明 (金沢大学), キャット・アダム (京都大学), 濱田 武志 (神戸市外国語大学), ヤロシュ・アレクサンドラ (ニコラウス・コペルニクス大学)

研究発表プログラム (9月17日)

※ 優秀発表賞審査対象者は氏名に下線を付しました。今年度の優秀発表賞は後日学会ウェブサイト上で発表し、受賞者にはメールでお知らせします。表彰式については後日学会ウェブサイト上でお知らせします。

※ オンラインで参加する発表者および座長は氏名の前に*印をつけてあります。

口頭発表 10:00~11:05, 11:20~12:25, 14:50~16:30

A会場 (C700教室)

座長：高橋康徳, 田中真一

A1 (10:00~10:30) 撥音に先行する母音の音響的特徴と調音運動—中国語を母語とする日本語学習者を対象に—

孫 静, 林 良子 (神戸大学大学院)

A2 (10:35~11:05) The Roles of VOT and f0 in Identifying Voicing Contrasts of Japanese Word-Initial Plosives: A Comparative Analysis of Japanese and Mandarin Native Speakers

*Huang Yixuan (早稲田大学大学院), 近藤 眞理子 (早稲田大学)

座長：井下田貴子, 林良子

A3 (11:20~11:50) 日本語アクセントが促音の知覚に与えるトップダウン効果

有賀 照道, 松原 理佐 (東京大学大学院)

A4 (11:55~12:25) 標準日本語のアクセントの逸脱に対する違和感について (2):4拍語の和語および外来語の名詞を対象に

韓 喜善 (大阪樟蔭女子大学), 難波 康治 (大阪大学), 陳 曦 (北洋大学)

座長：竹内京子, *安田麗

A5 (14:50~15:20) 自由会話における笑いのパターンと音響的特徴

王 可心 (神戸大学大学院, 国際電気通信基礎技術研究所 (株)), 石井 カルロス寿憲 (国際電気通信基礎技術研究所 (株), 理化学研究所), 林 良子 (神戸大学)

A6 (15:25~15:55) 口角の高さを指標にした発声訓練法の検討

設楽 郁巳 (甲南大学大学院), 安田 奈央, 北村 達也 (甲南大学), 牧野 桃子, 山根 典子 (広島大学)

A7 (16:00~16:30) キャリア育成から見た日本語音声教育研究—アナウンススクールの事例—

*鴨居 眞理子, 沼田 秀穂 (香川大学大学院)

B 会場 (A703 教室)

座長：川原繁人, *波多野博顕

B1 (10:00~10:30) 英語を原曲とする明治唱歌のリズムについて—標準化配列間変動指標を用いた分析—

服部 範子 (三重大学)

B2 (10:35~11:05) Harvard-NGSL 文の音声バランスの評価

矢澤 翔 (筑波大学)

座長：松田真希子, 竹内はるか

B3 (11:20~11:50) 南琉球与那国方言における重子音化と無気喉頭化音の音韻解釈

中澤 光平 (信州大学)

B4 (11:55~12:25) 北海道ことばのアクセント特徴に関する一考察

佐藤 大和 (東京外国語大学), 山崎 亜希子 (早稲田大学)

座長：李勝勳, *生駒美喜

B5 (14:50~15:20) Automatic Measurement of Lexical Stress in Spontaneous L2 English Speech of French Learners

Coulangue Sylvain (同志社大学大学院, グルノーブル・アルプ大学大学院), 加藤 恒夫 (同志社大学), Masperi Monica, Rossato Solange (グルノーブル・アルプ大学)

B6 (15:25~15:55) Complementary roles of acoustic cues: a database study of voicing contrast in Hirosaki Japanese

鈴木 成典 (国際基督教大学大学院)

C 会場 (A705 教室)

座長：峯松信明, 杉本淳子

C1 (10:00~10:30) 語彙記憶のための音素単位と音節単位の練習

長井 克己 (香川大学)

C2 (10:35~11:05) 学習者の英語発音における3段階の強勢の実現について: ピッチを中心に

北原 真冬 (上智大学), 田嶋 圭一 (法政大学), 米山 聖子 (大東文化大学)

座長：内田洋子, *山本誠子

C3 (11:20~11:50) 学習者による英語絵本読み聞かせ音声に観測される韻律的特徴と感情明瞭度に関する分析

峯松 信明, 正田 千宙, 高 英翔 (東京大学大学院), 中西 のりこ (神戸学院大学),

齋藤 大輔 (東京大学大学院)

C 4 (11:55~12:25) Visualising fluency: English interviews of Japanese students

Francesco Cangemi (University of Cologne)

座長：木村琢也, *高澤美由紀

C 5 (14:50~15:20) Perception of Vietnamese Nasal Consonants by Japanese Learners of Vietnamese

*Le Thi Huyen Trang (早稲田大学大学院), 近藤 真理子 (早稲田大学)

C 6 (15:25~15:55) 日本語母語話者によるモンゴル語の/r/と/l/の知覚

*阿 栄娜, 山根 直人, 馬塚 れい子 (理化学研究所, 早稲田大学)

ポスター発表 13:30~14:30

ポスター会場 (C703 教室)

座長：船津誠也, 米山聖子

P1 日本人航海士の海事用語発音：アメリカ英語母語話者による「わかりやすさ」の評価
内田 洋子 (東京海洋大学), 杉本 淳子 (聖心女子大学)

P2 母音無声化におけるミスマッチ刺激の非対称性：視線計測を利用して
吉田 夏也 (東京学芸大学, 上智大学), 北原 真冬 (上智大学), 白勢 彩子 (東京学芸大学)

P3 テレビドラマ台詞データベース構築による日本語の終助詞の考察 —役割語と日本語教育の視点から—
王 爽爽, 冬野 美晴 (九州大学大学院)

P4 日本語学習者によるアクセント型と母音長の音声実現 —中国語北方方言母語話者の場合—
栗原 通世 (国土館大学)

P5 Comparison between the Machine Phonetic Transcriber of Allosaurus and an Expert Phonetician
Sun Haitong, 高 英翔 (東京大学大学院), 峯松 信明 (東京大学), 牧野 武彦 (中央大学), 中西 のりこ (神戸学院大学)

P6 ビルマ語対話に見られる声調のバリエーション—語学教材の対話文の分析を通して
伊達 宏子, 岡野 賢二, トゥザ ライン (東京外国語大学)

P7 ベトナム語北部方言の声調の変化について：世代差をもとに
*山岡 翔 (大阪大学, 日本学術振興会)

◇ 参加費

参加費はイベントペイシステム Peatix を通じてお支払いください。現金でのお支払いはできません。下記 URL から Peatix にアクセスしてください。

<http://ptix.at/R76AG3>

学生（学部、大学院）が 1,000 円、一般会員が 3,000 円、非会員（学生以外）が 6,000 円です。学生の方は、申し込みと同日に下記アドレスまで学生証の画像をメール添付でお送りください。（画像は確認後、責任を持って消去します。）

psj2023k@gmail.com

※一日目の特別講演（オンライン）は、どなたでも無料でご参加いただけます。

◇ 予稿集

予稿集は電子版の発行となります。USB や冊子媒体での予稿集は配布しません。予稿集は会員マイページにて事前に公開しますので、ダウンロードやプリントアウト等をして各自でご準備ください。

◇ 新規学会入会受付

音声学会では入会を随時受け付けております。ご希望の方は、以下をごらんください。

<http://www.psj.gr.jp/jpn/membership>

◇ 懇親会

感染症予防の観点から、今回は懇親会を行いません。

◇ 昼食

大会両日とも昼食用のお弁当等の受付はございません。また、会場内の売店・食堂は両日とも営業しておりません。各自でご用意の上、ご来場ください。会場付近で食品等が買えるのはファミリーマート（徒歩 5 分、ただしちょっと坂道）、キャポ大谷地、ローソン（いずれも徒歩 10 分）になります。

◇ 展示

書籍・機器の展示を一日目 9 月 16 日（土）、二日目 9 月 17 日（日）の両日に行う予定です。

◇ 企画委員

木村琢也（委員長）、竹内はるか（副委員長）、李 勝勲、井下田貴子、生駒美喜、内田洋子、籠宮隆之、川原繁人、杉本淳子、高澤美由紀、高橋康德、竹内京子、波多野博頭、林良子、船津誠也、松浦年男、松田真希子、峯松信明、安田 麗、山本誠子

◇ 庶務委員

白勢彩子（委員長）、皆川泰代（副委員長）、植田尚樹、木川行央、坂本洋子、平子達也、平田秀、三井はるみ、吉田夏也

◇ 会場への交通

新千歳空港から

◎バス（1時間に2本／所要時間約40分／1000円／交通系ICカード対応）

大谷地行きに乗車し終点で下車

https://www.chuo-bus.co.jp/airport/index.cgi?ope=sap_pole&trjc=2129&trjs=29

◎電車（1時間に4本程度／所要時間約40分／1090円／交通系ICカード対応）

JRエアポート号で新札幌駅→地下鉄東西線に乗り換えて大谷地駅下車

◎札幌駅、大通駅、すすきの駅に宿泊の場合、地下鉄大通駅まで向かい、東西線新さっぽろ行に乗り大谷地駅へ向かう

大谷地駅から

バスは地上の出口（自動ドアが1箇所だけ）を出て右に向かい、信号を1つ過ぎてすぐ右からサイクリングロードに入り直進。地下鉄は1番出口から案内図に沿って行く

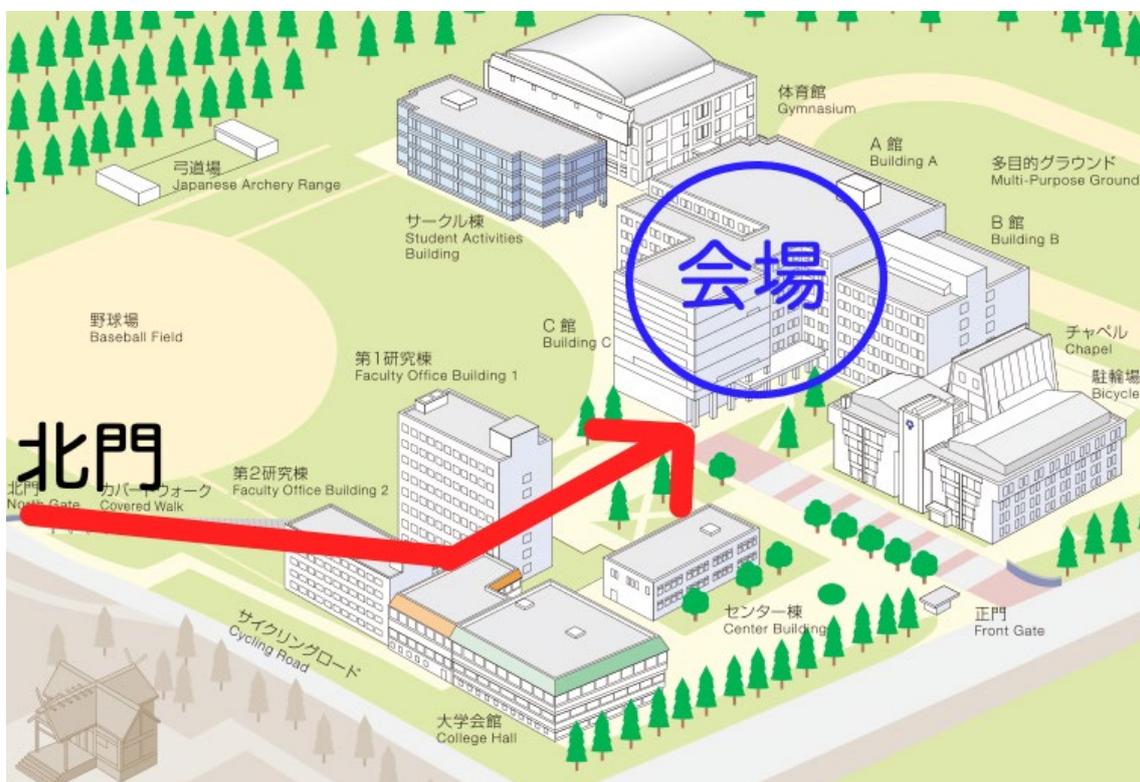
所要時間は10分（大谷地から北門まで5分。北門から会場のC館校舎まで5分）

<https://www.hokusei.ac.jp/access/>



◇ キャンパスマップ

北門からカバードウォークを登り左に曲がりまっすぐ行くと会場のA館・C館入口です。



入口正面のエレベーターで7Fまでお越しください。受付や会場は全て7Fにあります。

※次回 2024 年度（第 38 回）全国大会は大東文化大学で開催予定です。